



NELSON SARGENTO

A VERDADE DO SAMBA

YOKOHAMA, JAPÃO

2019年 9月7日(土) / 9月8日(日)

18:00 開場 18:30 開演 13:00 開場 13:30 開演

横浜にぎわい座「のげシャーレ」

入場料(全席自由)：前売 6,200円 当日 6,500円 (残席ありの場合のみ販売)

チケット取扱い：SAÚDE WEB SHOP (6月22日発売開始)

主催：エスコーラ・ヂ・サンバ・サウデ (G.R.E.S. SAÚDE Yokohamangueira)

共催：横浜にぎわい座、野毛地区街づくり会

協賛：亜友夢株式会社 後援：ブラジル大使館 協力：LATINA

お問い合わせ：nelsonjapao@gressaude.com

SAÚDE WEB SHOP



リオの現役最長老サンビスタ、ネルソン・サルジェント 来日コンサート

NELSON SARGENTO

ネルソン・サルジェント（本名：Nelson Mattos）は1924年7月25日生まれ、現役最年長のサンバ歌手・作詞作曲家だ。10代前半から育ったリオデジャネイロ市内のマンゲイラの丘で、名門エスコーラ・ヂ・サンバ「マンゲイラ」の中心人物、故カルトーラと知り合い、マンゲイラのカーニヴァルのパレード・テーマ曲を作曲した。70年代末にはサンバへの愛と誇りをメッセージした曲「Agoniza Mas Não Morre（サンバは死なず）」がベッチ・カルヴァーリョの歌で大ヒットし、初リーダー作も発表した。

絵描きでもあるネルソン作のサンバは、自然描写の詩情と哀愁を帶びた名曲の宝庫。自身の黒人性に根ざした楽曲もあり、ブラジルのヒップホップ世代の音楽家からもリスペクトされている。

現在、ネルソンはマンゲイラの名誉会長をつとめ、95歳を迎える今も元気に活動を続けている。通算3回目となる2019年の来日公演は、マンゲイラの公式の友好団体である横浜のエスコーラ・ヂ・サンバ、サウーデの企画主催で、演奏は日本最高のサンバ・バンド、グルーポ・カデンシア。リアルでピュアなサンバの醍醐味を体感できる最高の機会を、お聴き逃しなく！

中原仁（J-WAVE「サウージ！ サウダージ..」プロデューサー）



GRUPO CADÊNCIA 演奏：グルーポ・カデンシア



宮澤 摩周（percussão）
尾花 究（violão de 7 cordas）
Dario Sakumoto（cavaquinho）
土井 徳浩（clarinete）
和田 充弘（trombone）

2012年春、宮澤摩周の呼びかけで結成。Cadênciacは律動の意。現在はインストゥルメンタルのグループとして活動している。Samba, Choro, Maxixe, Marcha等、バンド名の通り、太くボトムの利いたスイングで演奏する。2015年11月、宮澤の師であるMestre Trambiqueを招聘。青山プラッサオノゼにて共演を果たす。2018年7月、現代サンバの旗手、Pedro Mirandaと共にジャパンツアーや開催。主要都市で行われた全公演で満員の成功を収めた。Flavia Dantas、Nilze Carvalhoの訪日時のミニコンサートでもサポート活動。

TAKERU MORIMOTO ゲスト：森本タケル



ブラジルに長期滞在中の1977年、カルトーラのコンサートを聴いて感動し帰国後、サンバ歌手の道に。80年代にエラ・ヂ・エスチを結成して活動、東洋一のサンビスタと賞賛されるようになった。87年、マンゲイラに捧げるファースト・アルバム「サンバの影」をリオで録音。90年のリオ滞在時にネルソン・サルジェントのライヴを聴きにいったところ、ネルソンに呼び上げられて歌を披露した。日本のサンバ史の生き証人。

MAKO ゲスト：マコ



神戸市出身。リオ・デ・ジャネイロ在住。ブラジル音楽歌手として関西を中心に活動。2001年に渡伯。リオで歌手・パークッシュニストとして音楽活動を開始。ブラジル在住の日本人歌手として最も注目を集め。ワンダ・サー、ホベルト・メネスカル、ペドロ・ルイス、ニルゼ・カルヴァーリョ、テレザ・クリスチーナ他と共演。MONOBLOCO, Mulheres de ChicoやPianOrquestraのメンバーとして活動中。リーダーアルバムとして“Algumas Cores- いくつかの色”(2010年)、“Oasis- オアシス”(2015年)を発表。

ACCESS

横浜にぎわい座
B1F「のげシャーレ」
〒231-0064
横浜市中区野毛町3-110-1
JR、横浜市営地下鉄
「桜木町」駅下車、徒歩3分
京浜急行線
「日ノ出町」駅下車、徒歩7分

